

公 表

第 55 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

1. 競技時間

標準時間 10 時間 00 分

- ・モジュール 1=6 時間 30 分
- ・モジュール 2=3 時間 30 分

打切時間 10 時間 10 分

※ 休憩時間 30 分間含まれず

2. 作業説明

別紙 1 のとおり

3. 仕 様 (モジュール別、指示事項)

別紙 2 のとおり

4. 注意事項・支給材料及び工具

別紙 3 のとおり

(別紙1)

作業説明

1. 課題の作成はモジュール形式とする。2 工程に分割した作業を決められた時間内に行うこと。
2. 作業台及び作業エリアは常に整理整頓すること。
3. 使用工具、工法は指示事項を除き、自由選択とする。スケール、差し金等、計測用具はJ I S規格品とする。
4. 支給された材料を確認すること。異常のあるときは競技スタート前に申しでること。
5. 持参工具の展開は会場下見の時に行う。(付添人も可)
6. 引き型は図面寸法を採用する。
7. モールディング貼り付け材料は自由とする。ビス止め併用可(有機接着剤は禁止)
8. 貼り付けた、モールディングと壁の間は、すき間なく仕上げること。
9. 置引き作業時の引き型洗水の容器、容量は最小限度にとどめること。
10. 石膏ボード切断、加工及び置引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。板の継ぎ足し、持ち込み等は不可とする。
11. 軽量鉄骨加工取付け及び石膏ボード切断時は安全のため保護用手袋を着用すること。
12. 課題の下地は平ボードとする。寸法は1.820×1.820とする。
13. 作業エリアの床養生は主催者側で行います。
14. 作成したモールディング A・B の切断は箱定木(留め型)の使用を可とするが、指定寸法にあわせ、両側を切断できるように作成した箱定規は禁止する。
モールディング C は指定寸法に合わせ、フリーハンドで切断すること。
15. 正面壁の右側面と袖壁の両側面はコーナー定木を取付けること。天場はモールディング A を取り付けて終了とする。補修作業は行わない。
16. 正面壁左小壁は塗壁作業を行わないこと。

(別紙2)

仕 様 (モジュール別、作業内容と説明)

モジュール1

施 工 日 : 1日目「11月25日(土)」

施工時間 : 6時間30分(8:50~12:00) (13:00~16:40)

(午前・午後、休息時間を10分間取る事)

作業内容 : 各種墨出し作業を行う。袖壁部は図面にに基づき、軽量鉄骨を組み立て、石膏ボードを切断加工して正面壁に取付ける。
出角部はコーナー定木を指定個所に取付ける。
厚塗り部はUトップを用いて中塗りを行う。
作製した引型を用いて置引き作業を行う。できあがったモルディングを切断加工する。
モルディング B は切断加工後、腰部に取り付ける。

作業説明 : 中心墨、陸墨は各自で出すこと。陸墨は課題中心部の床から 1.000 mm上がりの位置を基準とする。モルディング取付け墨は時間内に終了する事。

- ・袖壁部の軽量鉄骨組立てはランナ、スタットの部材を正面壁に一本ずつ取り付けること。
- ・軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビス間隔は 200 mm以内とする。
- ・厚塗り部の出角はUトップを用いて埋め込み定木を固定する。
- ・薄塗り部の出角は薄塗り用コーナーテープを接着テープで貼るか、マリネライムを用いて取り付けるか何れかの方法で固定する。
- ・仕上がったモルディングは指定寸法に切断加工して取り付けができる状態にすること。
- ・置引きの下地に使用する発泡スチロール (1.820×450×10) を支給。
必要であれば使用する (持込み不可)
- ・モルディング A. B. C の引き型は現地で支給する方眼紙と鉄板を用いて作製後、持参した木型に取付け完成させること。
- ・引き型は1日目の作業終了後、すべて提出すること。

モジュール2

施工日：2日目「11月26日（日）」

施工時間：3時間30分（午前8：50～12：30）
（休息時間を10分間取ること）

作業内容：壁面上塗りとモールディングA・Cの貼り付け、接合部の補修作業。
モールディングC内、自然素材による鍍塗り仕上げ。

作業説明：・壁面は支給した上塗り材を用いて金鍍仕上げとする。

- ・前日作成した、モールディングA・Cを指定寸法に貼り付け、接合部は焼き石膏を充填して角部を正確に仕上げる。
- ・貼り付けたモールディングAの天場部の補修は不用とする。
- ・貼り付けたモールディングCの内壁は自由課題とする。自然素材を用いて、鍍塗り仕上げとする。

(別紙3)

注意事項

1. 競技中、工具の貸し借りは禁止する。
2. 電動工具（丸ノコ）の使用を禁止する。充電ドライバーの使用は可。
3. 安全規則を守ること。ケガをした者は競技委員で協議のうえ対応を決定する。
4. 休憩時間及び作業終了後は速やかに参加票を提出する。
5. 作業台は型枠用として市販されている樹脂合板を使用する。（1,800×900×12）
6. 置き引きに使用するアルミ製定規は支給する。持ち込み不可。墨出し、その他に使用する定木は持ち込み可とする。

（あらかじめ指定寸法を記入した定木の使用は禁止する）

7. 軽量鉄骨組み立てに使用するビスは各自持参すること。
8. 支給したランナは各自切断、加工して使用すること。
9. スタット固定用のスペーサは使用、不使用どちらでも可。使用するときは持参する。
10. モジュール1及び2で使用する塗り材は当日係員が支給する。
11. 墨出し作業において型板、型紙の使用を禁止する。
12. 時間超過及び仕様誤り、作業説明、注意事項違反をした場合は減点の対象とする。

支給材料・工具・部材

番号	品名	規格	数量	備考
1	鉄板	350mm×150mm×0.4mm	1枚	引き型作成用
2	焼石膏	吉野石膏桜印A級25kg	2袋	
3	Uトップ	吉野石膏既調合中塗り材	適量	コーナー定木取付けと中塗り
4	マリンライム	村檜の既調合漆喰上塗り材 ML-100（青ラベル）	適量	コーナー定木取付けと正面壁上塗り
5	マリンライム	村檜の既調合漆喰上塗り材 ML-103（青ラベル）	適量	正面壁腰部上塗り
6	フクビ化学ニュー ツーウェイコーナ ー定木	ピン角仕上げ7K=1,830mm	2本	厚塗り角部取付け
7	フクビエココー ナーテープ53T	4,000mm	1本	薄塗り角部取付け
8	石膏平ボード	1,820mm×910mm×12.5mm	1枚	袖壁作成用
9	アルミ製定木	1,800mm×60mm×25mm	2本	置き引き用
10	ランナ	700mm×52mm	1本	袖壁組立て軽量鉄骨材
11	スタット	1,810mm×50mm	2本	〃
12	発泡スチロール	1,800mm×900mm×10mm	1枚	置引き中込め用
13	取り舟	小	1個	残土用
14	バケツ	18及び15リットル	3個	プラスチック製
15	作業台	1,800mm×900mm	1台	置引き等、各種作業用
16	置き台	1,800mm×900mm	1台	モールドイング保管用

公 表

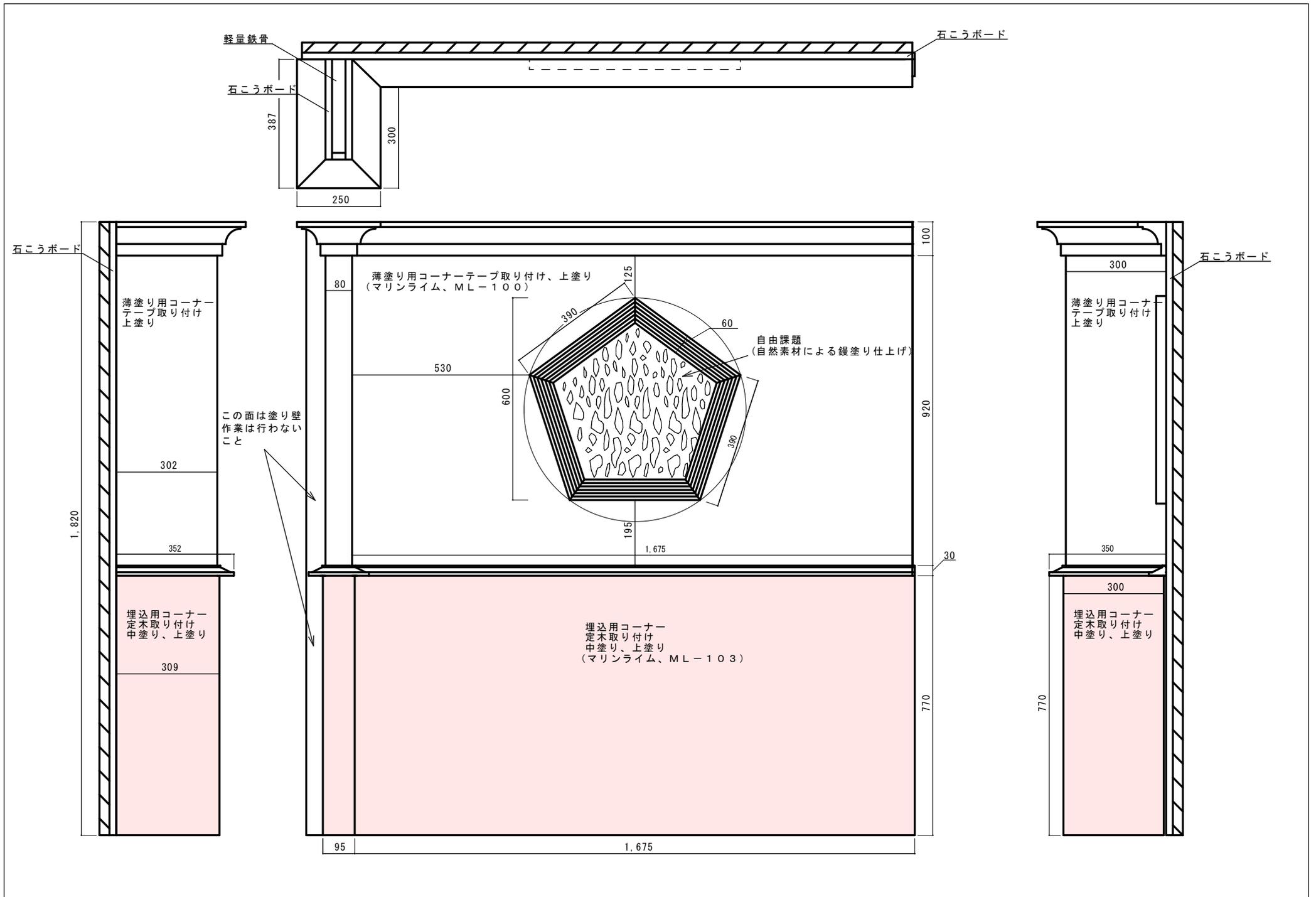
第 55 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題図

1. 別添 第 55 回技能五輪全国大会「左官」職種競技課題のとおり。

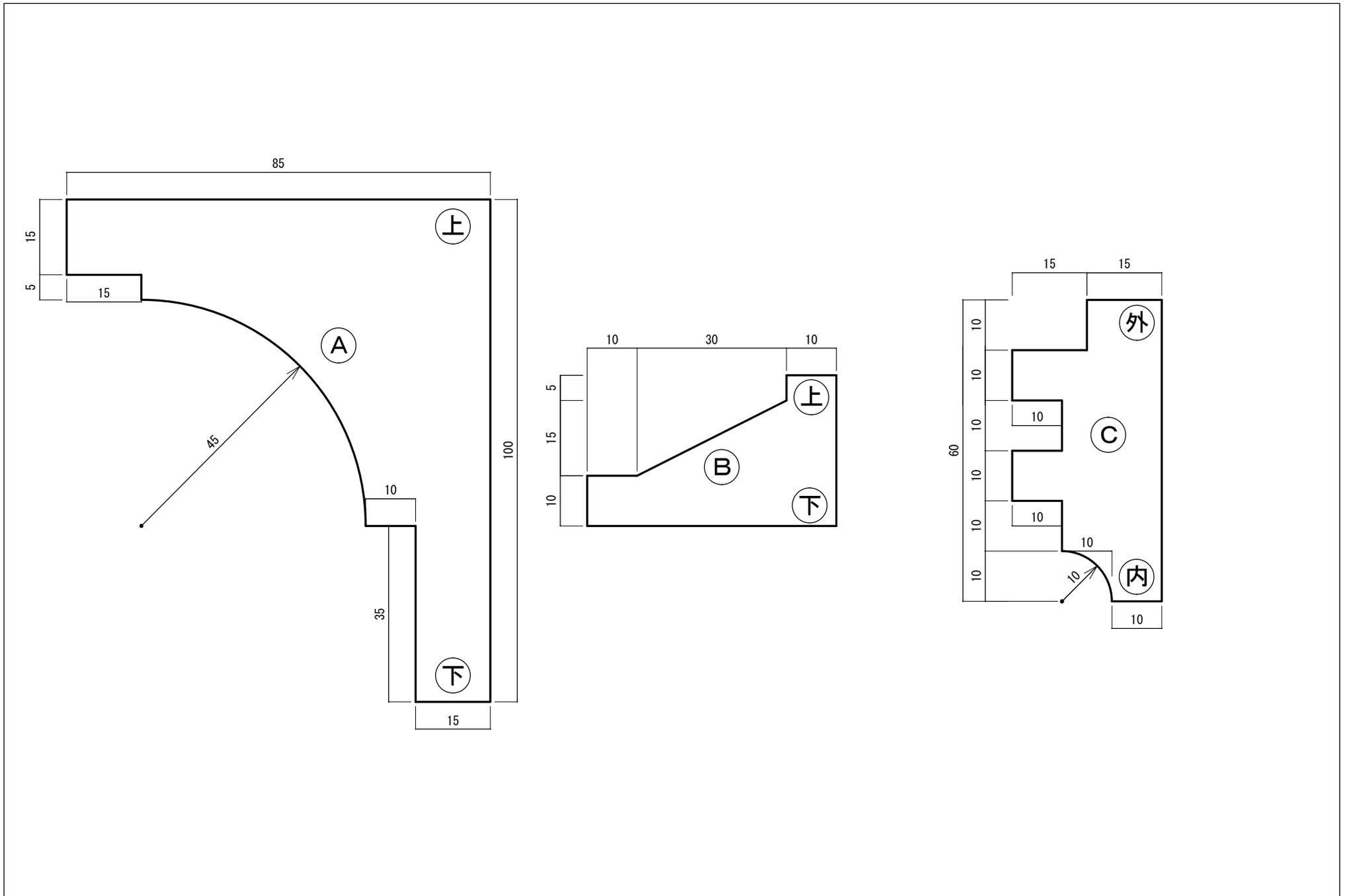
1-1 仕上り全体図及び作業説明図

1-2 引き型断面図

左官職種－ 2 －



左官職種 1-1 競技課題図



左官職種 1 - 2 引き型断面図

公 表

第 55 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

番 号	品 名	規 格	数 量	備 考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	制限なし
2	工 具 箱	大きさは 1 m ³ 前後	1 個	
3	モールディング貼付け材		適量	有機接着剤不可
4	着色剤		適量	自由課題鍍塗仕上用
5	養生テープ	市販品	適量	
6	延長コード	1 0 m	1 本	
7	保護用手袋	市販品	1 個	
8	脚立（作業台）	高所作業用	1 脚	使用者は持参する事

※ 工具箱の大きさは 1 m³ 前後とする。

著しく大きい工具箱の持参は協議のうえ減点とする。

公 表

第 55 回技能五輪全国大会左官職種採点基準表

項 目 区 分	採 点 基 準	配 点	
		項 目 配 点	合 計
施 工 法	置 引 き 墨 出 し モジュール1 モジュール2	36.0	36.0
精 度	寸 法 角 度 水 平 度 垂 直 度 平 面 度 接 合 部 引 き 型	47.0	47.0
作 業 態 度	整 理 整 頓 手 ぎ わ 安 全 作 業	7.0	7.0
外 観	外 観	10.0	10.0
減 点	不 安 全 作 業 仕 様 誤 り 不 良 施 工 残 土 時 間 超 過		
合 計		100	100

第55回技能五輪全国大会Q & A

競技主査 高野雅一

1. 持参する工具箱の容量が1 m³を超えてもよいか。

回答（第55回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具一覧表のページに工具箱の大きさは1 m³前後と明記してあります。著しく大きくなければOKです。）

2. 置引きの残土を入れる取舟(小)を使わずに、持参した容器を使用してよいか。

回答（よろしいです。持参して使用して下さい。）

3. モールディング加工及び切断補修等に使用するため作成した小型の作業板等を持参してよいか。

回答（作業説明1 2、置き引き等の作業は備え付けの作業台を使用すること。と明記してありますので、持ち込みは不可です。鉄板加工を作成する作業板は持参してもよろしいです。

4. 引き型作成用に支給される鉄板の材質は何ですか。

回答（アルミニウムと亜鉛合金メッキ鋼板にポリエステル樹脂系塗料を焼き付けた0.4 mm厚の塗装合板です。）

5. 置き引き製作時、引き型と同じ寸法で作製した、かいこみ定規を前後に取付けて置き引き作業してよいか。〔置き引きを取り外すと留めの部分ができあがっている。〕

回答（モジュール1の作業説明の中で、すべてのモールディングは焼き石膏、置き引き仕上げとする。と明記してあります。留め部分は作製したモールディングを切断して接合、補修して仕上げして下さい。型どおりに作成した定規類をかいこんで仕上げ面を作ることは禁止です。）

6. 支給した置き引き用アルミ定規に穴をあけてよいか。

回答（穴はあけずに両端を止めて使用して下さい。）